

2020年11月13日

各位

会社名：ノーリツ鋼機株式会社
 代表者名：代表取締役 CEO 岩切 隆吉
 (コード：7744 東証第1部)
 問合せ先：執行役員CFO 横張 亮輔
 (TEL：03 - 3505 - 5053)

(訂正)「2020年12月期第2四半期決算補足説明資料」の一部訂正について

令和2年11月13日に公表いたしました「2020年12月期第2四半期決算補足説明資料」につきまして、一部誤りがありましたので下記の通り訂正いたします。なお、訂正箇所は下線および図の赤枠で示しております。該当部分以外での修正事項はございません。

記

1. 訂正箇所

「2020年12月期第2四半期決算補足説明資料」

16ページ【ヘルスケアセグメントー医療検査】

ページ右上部分コメント「事業EBITDA -33.0% 大幅減益」部分

2. 訂正内容

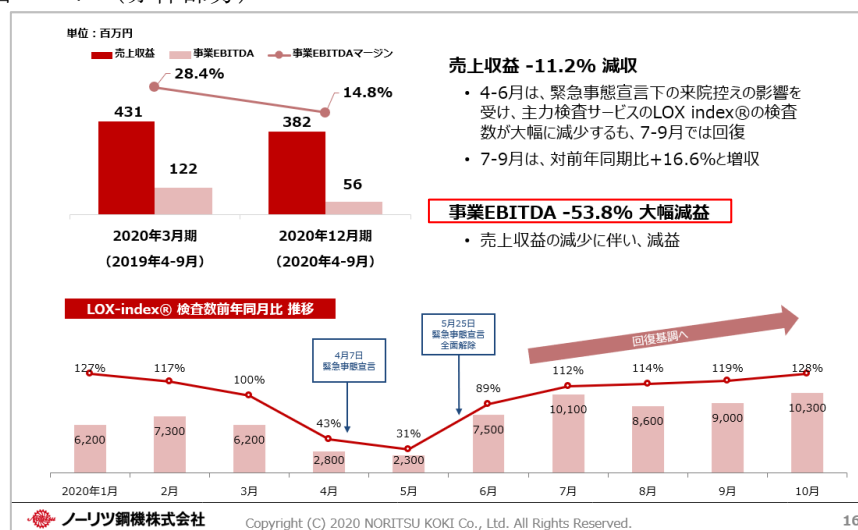
(訂正前) 補足資料 P. 16

事業EBITDA -33.0% 大幅減益

(訂正後) 補足資料 P. 16

事業EBITDA -53.8% 大幅減益

※該当ページ (赤枠部分)



以上

NORITSU

face the NEXT™

決算補足説明資料

2020年12月期 第2四半期
(2020年4-9月)

ノーリツ鋼機株式会社

証券コード：7744（東証1部）

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用权資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。

連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

1 2020年12月期 第2四半期連結業績

2 2020年12月期 通期連結業績予想（9か月）

3 セグメント別トピックス

4 APPENDIX

主な変更点について

当期からの主な変更点は下記のとおりです。

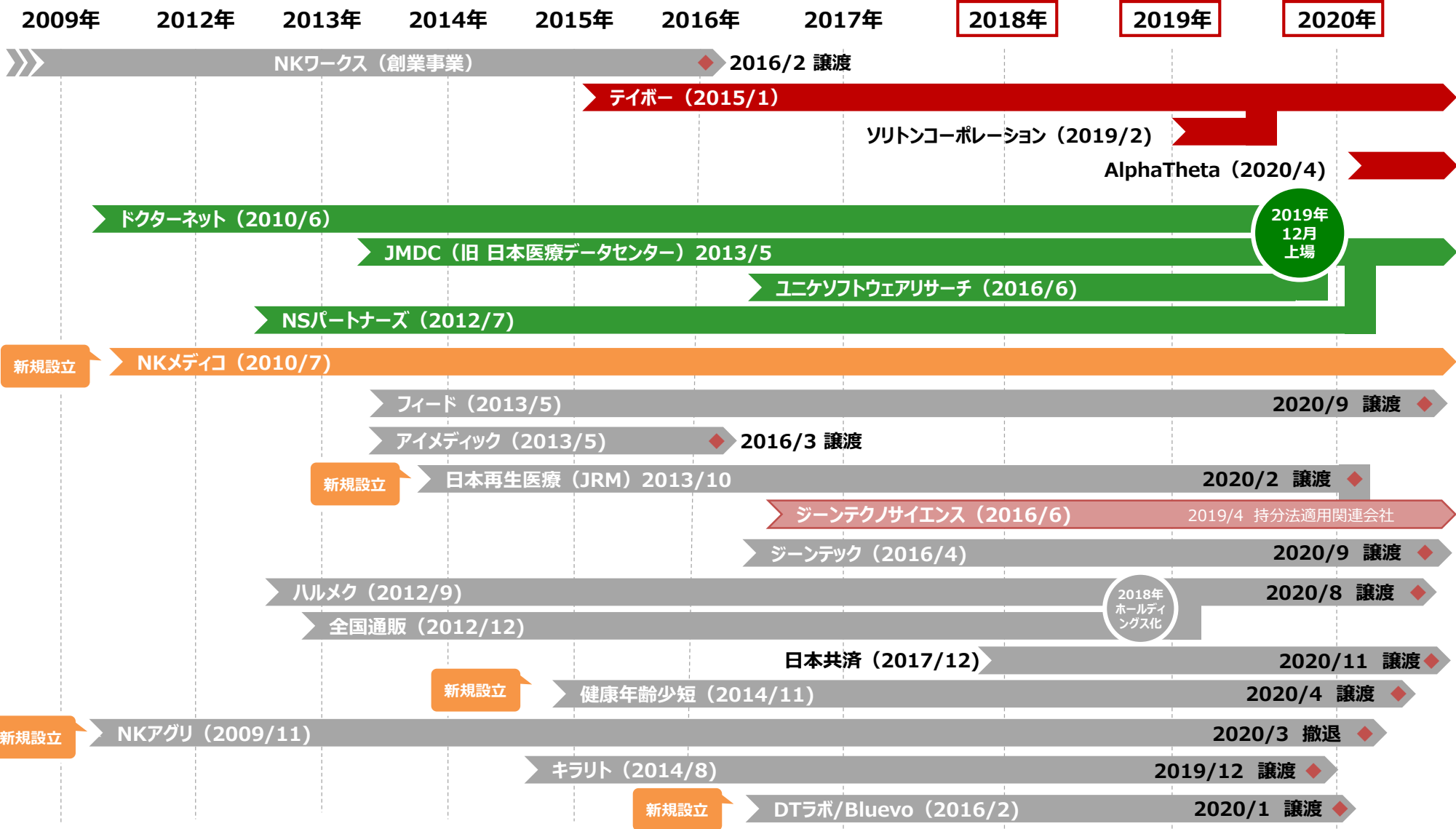
変更点	変更前	変更後
① 決算期	毎年3月31日	毎年12月31日
② 事業セグメント	ものづくり、ヘルスケア、シニア・ライフ など	ものづくり (部品・材料、音響機器関連) ヘルスケア (医療情報、医療検査) <small>※事業ポートフォリオを再編</small>

2020年12月期第2四半期連結業績 ハイライト

- ・ 売上収益、営業利益は、AlphaThetaのグループ入りにより大きく伸長
- ・ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、営業利益の増加に加え、事業ポートフォリオの再編の効果等により大幅増益

単位：百万円	2020年3月期 (2019年4-9月) 実績	2020年12月期 (2020年4-9月) 実績	対前年同期		
			増減額	増減率	
売上収益	12,698	25,437	+12,738	+100.3%	
事業EBITDA	3,296	5,582	+2,285	+69.3%	
事業EBITDAマージン	26.0%	21.9%			
営業利益	2,261	3,330	+1,068	+47.2%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 827	5,517	+6,345	-	
平均為替レート	米ドル	-	106.9円	-	-
	ユーロ	-	121.3円	-	-

参考) 事業ポートフォリオの再編



ものづくり

- テイボー（部品・材料事業）は、4-6月に新型コロナウイルスの影響を特に受けましたが、足元は回復傾向にあります。
- AlphaTheta（音響機器関連事業）が4月3日よりグループ入りし、業績寄与しております。ロックダウンにより工場での生産活動が一時ストップする等の影響がありましたが、幅広いプロダクトラインナップにより販売は堅調で、コロナ禍においても前期を上回るペースで進捗しております。
- AlphaThetaの買収に伴い、FAフィー等の買収関連費用を第1四半期に約10億円計上しております。5月15日公表時の通期連結業績予想に織り込み済みです。

ヘルスケア

- 4月1日からNSパートナーズがJMDCグループとなりました。また、フィードを有するデンタルホールディング及びジーンテックの全株式を第2四半期（7-9月）に譲渡完了しております。
- ハビタスケア、医薬情報ネット*、データインデックス* がグループ入りしております。（*）10月以降
- NKメディコに関しては、上場準備を開始するとともに引き続き個別事業の可能性を追求いたします。

その他

- 当社の財務体質を強化するとともに、JMDC株式の流動比率を高めることを目的として、JMDCの株式を一部売却いたしました。引き続き連結子会社であるため、売却益相当額（税金考慮後）は資本剰余金として処理されますが、税効果により、親会社の所有者に帰属する当期利益の増益要因となりました。
- ポートフォリオ再編を進め、ハルメクや全国通販を有するハルメクホールディングス及び日本共済の全株式を譲渡し、シニア・ライフセグメントを廃止いたしました。
- JMDCが海外募集による新株式発行により約107億円を調達しておりますが、当社持分の希薄化は1.9%程度であり、今後も当社の連結子会社として、コア事業の一つであるヘルスケア事業を推進してまいります。

セグメント別 売上収益／事業EBITDA

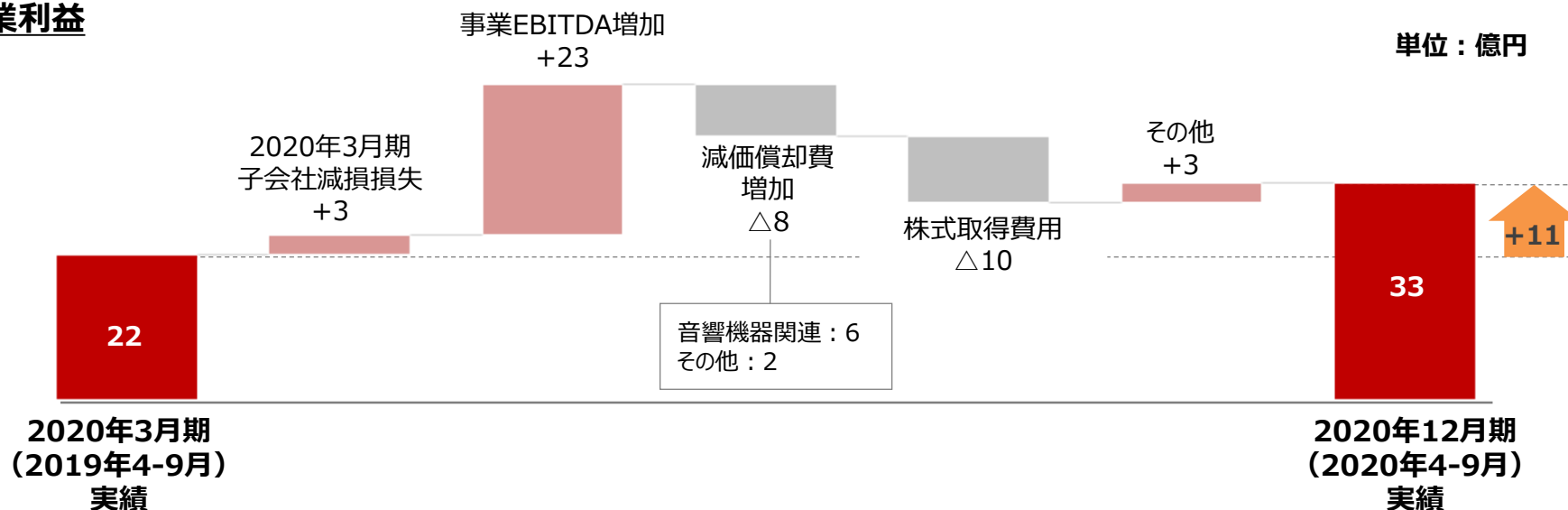
単位：百万円	売上収益			事業EBITDA		
	2020年3月期 (2019年4-9月) 実績	2020年12月期 (2020年4-9月) 実績	対前年同期 増減率	2020年3月期 (2019年4-9月) 実績	2020年12月期 (2020年4-9月) 実績	対前年同期 増減率
ものづくり	5,771	18,081	+213.3%	1,949	4,463	+128.9%
部品・材料	5,771	4,703	-18.5%	1,949	1,298	-33.4%
音響機器関連	-	13,377	-	-	3,165	-
ヘルスケア	6,813	7,355	+8.0%	1,655	1,515	-8.5%
医療情報 *1 *2	6,382	6,972	+9.3%	1,533	1,459	-4.8%
医療検査	431	382	-11.2%	122	56	-53.8%
その他	113	-	-	△66	-	-
全社費用	-	-	-	△242	△397	-
連結合計	12,698	25,437	+100.3%	3,296	5,582	+69.3%

*1 JMDCに異動したNSパートナーズの数字を含みます。

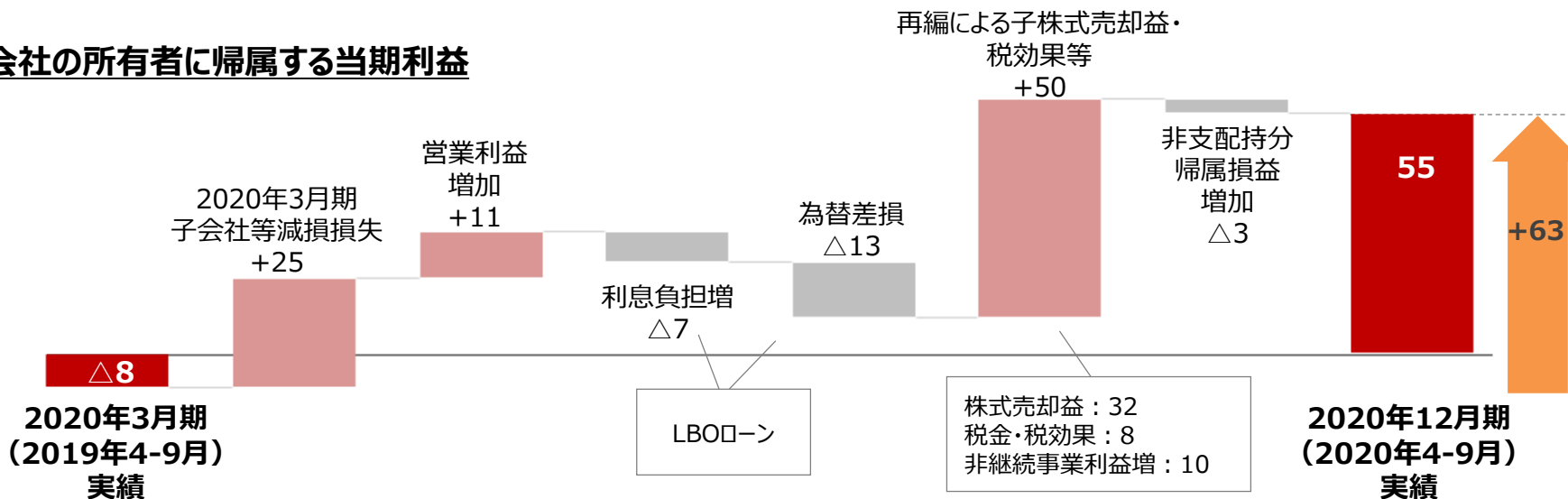
*2 当社の事業EBITDAは「使用権資産の減価償却費は除く」と定義している点において、JMDCが公表しているEBITDAとは異なります。

営業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益 増減分析

営業利益



親会社の所有者に帰属する当期利益



補足) 為替影響について

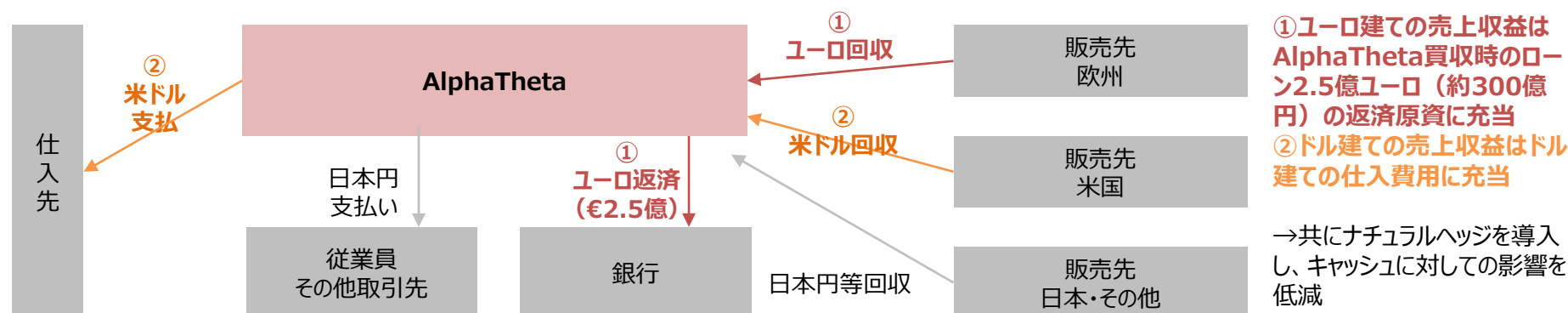
AlphaTheta買収により、為替リスクが存在

- キャッシュについては、以下資金フロー図の通りナチュラルヘッジを導入し、影響を低減
- 会計上は、対ユーロで1円の円安/円高につき、
 - 事業EBITDA → 年間約70百万円の増益/減益インパクト
 - 税引前利益 → 年間約250百万円の減益/増益インパクト ※ローンの評価替えによる

■ 2020年上半期（4-9月）決算への影響

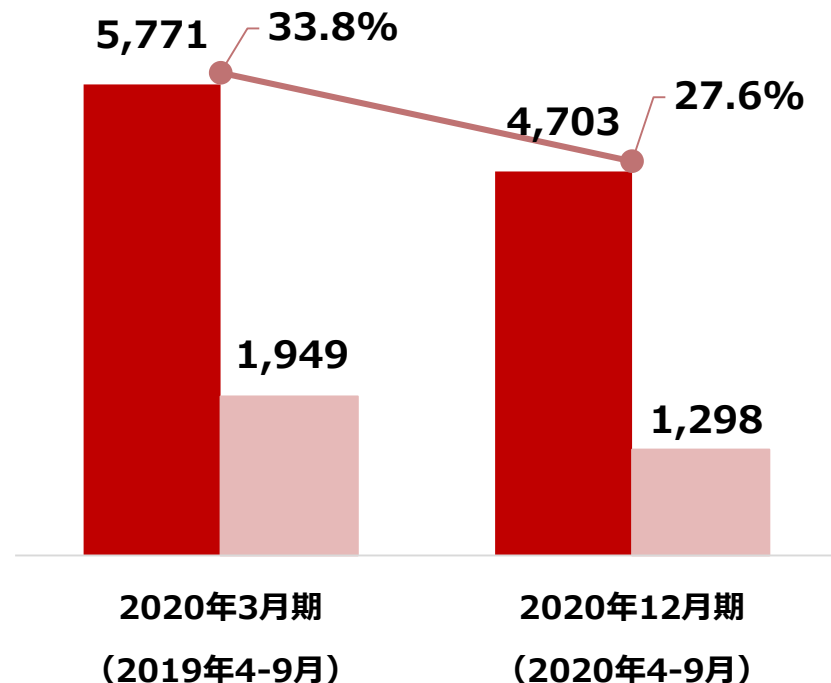
今回の決算においては、ローンの為替影響による評価替えにより金融費用が約13億円発生、税引前利益に計上 ※今後も四半期決算ごとに評価替えを実施し、増減額を損益として認識

資金フロー図



単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



売上収益	2019年4-9月	2020年4-9月	増減率
筆記	3,838	3,211	-16.3%
コスメ	723	481	-33.5%
MIM	959	811	-15.4%
その他	249	199	-20.1%

売上収益 -18.5% 減収

- ・新型コロナウイルスの影響を受け減収
- ・筆記は、画材関連の巣ごもり需要があったが、全体をカバーするまでは至らず
- ・コスメは、コロナ禍の外出自粛による使用機会の減少により、特に影響を受けた
- ・MIMは、4-6月は顧客の生産調整等の影響があったが、7-9月は自転車分野が好調に推移し、自動車分野の鈍化をカバー

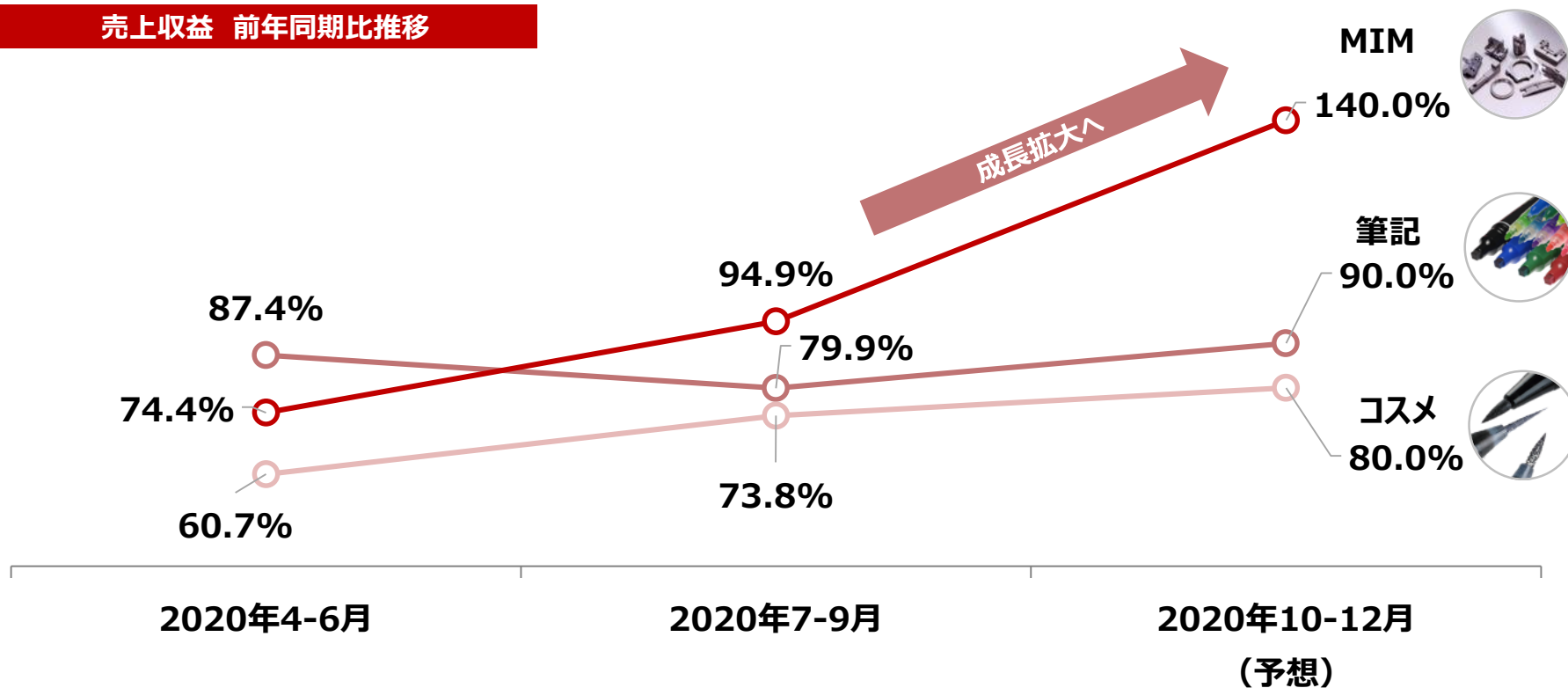
事業EBITDA -33.4% 減益

- ・生産活動の制限等により、生産性へも影響が出た半期であったが、今後改善の見込み
- ・引き続き高い収益性を維持し、グループの基盤事業として安定した収益の創出を目指す

部品・材料 – カテゴリ別売上収益 前年同期比推移

- 筆記及びコスメは、上半期（4-9月）は前年同期を大きく下回ったが、10月以降は回復基調。中国市場は既に前年同期を上回るペースで成長
- MIMは、自転車分野が好調に推移、10月以降再び成長拡大基調へ

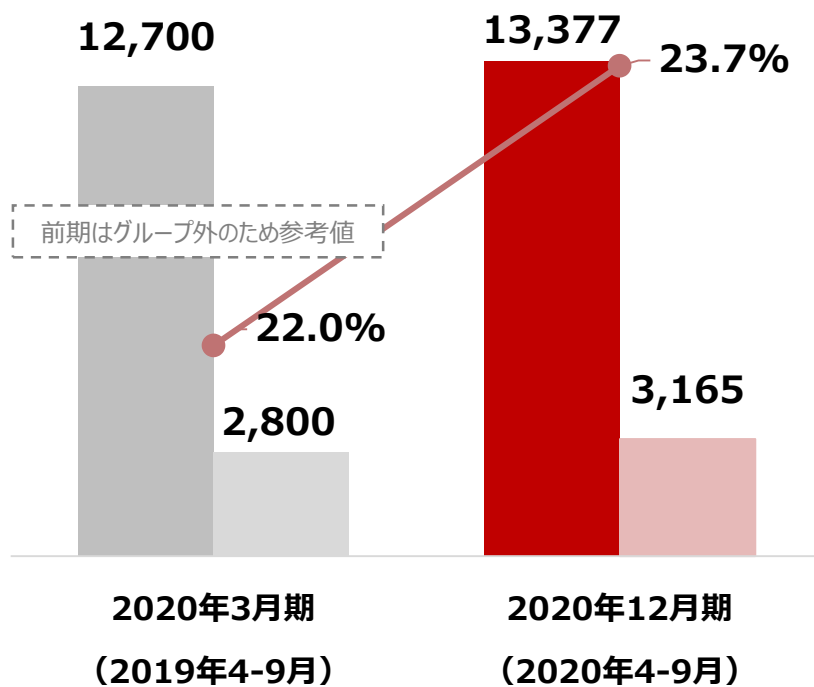
売上収益 前年同期比推移



ものづくりセグメント－音響機器関連

単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



売上収益 +5.3%増収

- 新型コロナウイルスの影響でクラブやイベント会場向けの販売は停滞した一方、巣ごもり需要もあり、ホームユース向けを中心とした販売は好調で、成長継続
- ロックダウンにより生産工場が3月中旬から1か月強、活動停止。4月後半から再稼働するも、4-6月は販売好調により在庫が枯渇し、受注残高として積みあがった
- 生産体制を強化し受注残高の解消に取り組んだ結果、7-9月は前年同期を大幅に超過

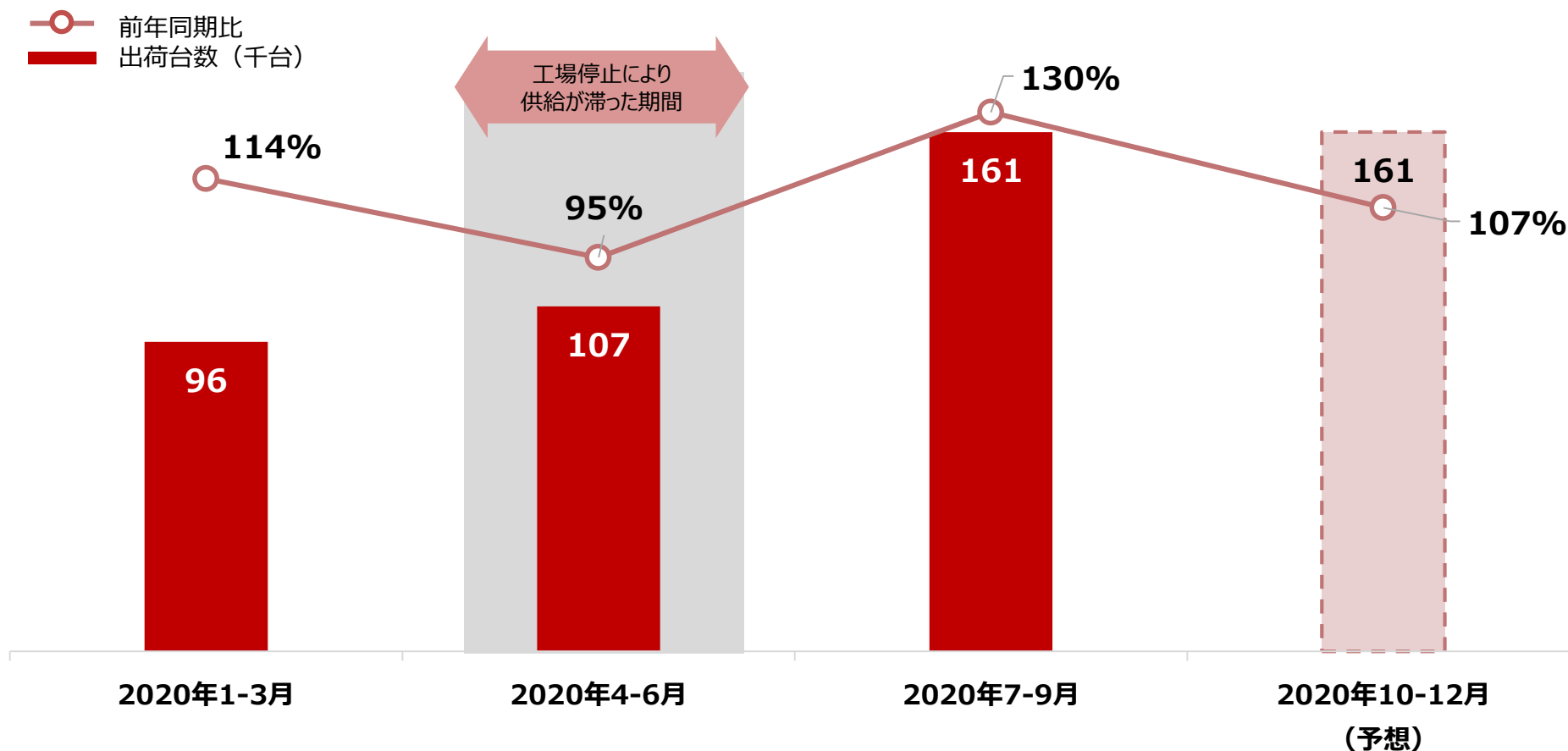
事業EBITDA +13.0%増益

- 売上収益の増収に伴い、増益

	2019年4-9月	2020年4-9月
DJ機器出荷台数	236千台	268千台
DJ向けアプリケーションMAU	48.4万人	58.8万人

出荷台数推移

- 3月の生産工場停止により4-6月に在庫枯渇問題が発生したが、積み上がった受注残高の解消に取り組んだ結果、7-9月は出荷台数が前年同期比で大幅成長
- 10月以降も、販売は引き続き好調、コロナ禍においても前年同期を上回るペースで進捗



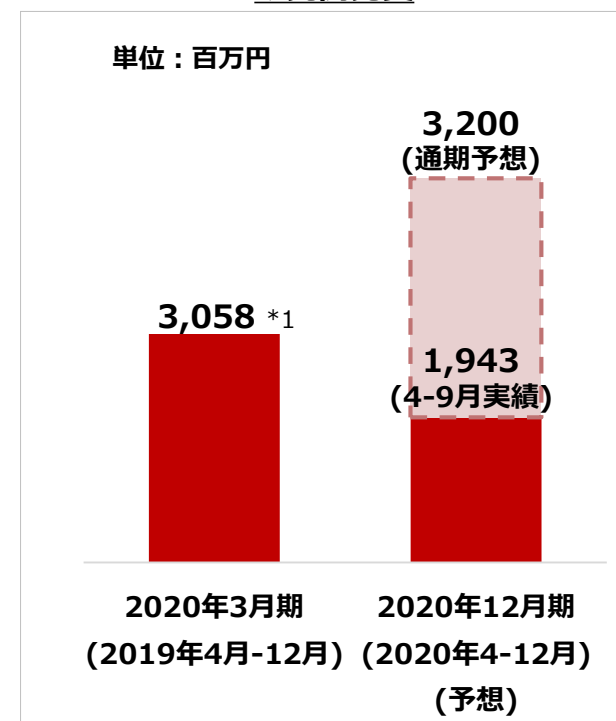
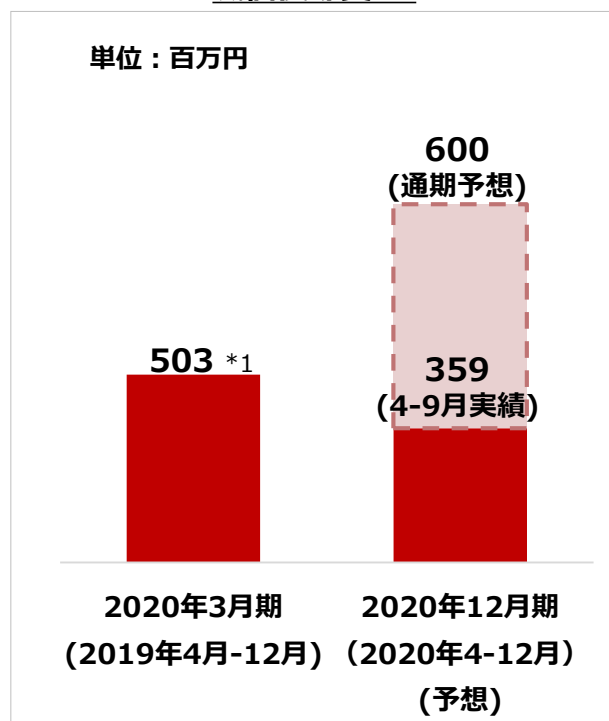
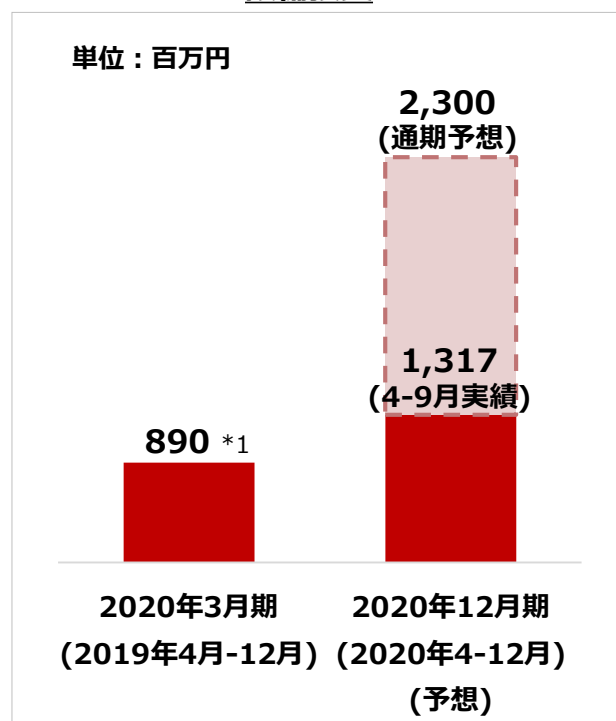
ものづくりセグメント－設備投資・減価償却費・研究開発費

- 設備投資は部品・材料のMIM工場新設により大幅増の見通し
- 研究開発費を10-12月に積極投資し、通期では前期超えの見通し

設備投資

減価償却費 *2

研究開発費



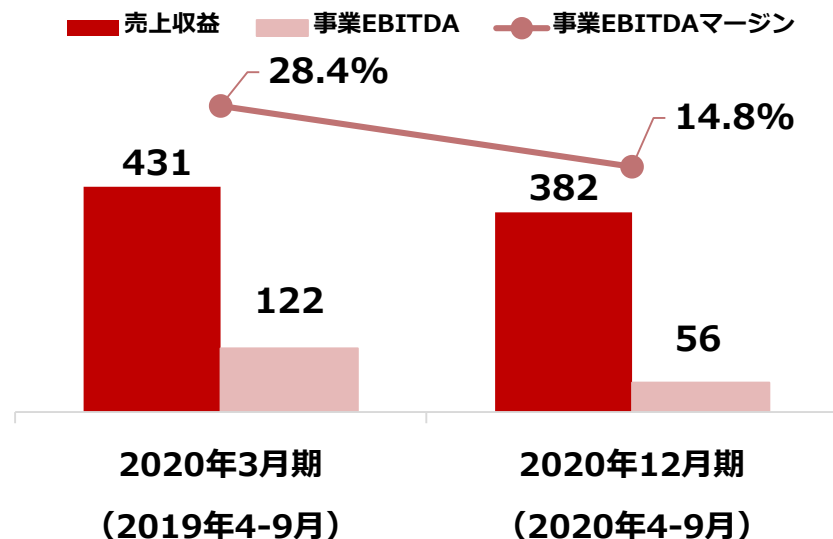
*1 グループ外であったAlphaThetaの数値を含む参考値となります。

*2 使用権資産に係る償却費及びPPA適用による償却費を除きます。

ヘルスケアセグメント－医療検査

*医療情報については、JMDCの決算資料をご参照ください。

単位：百万円



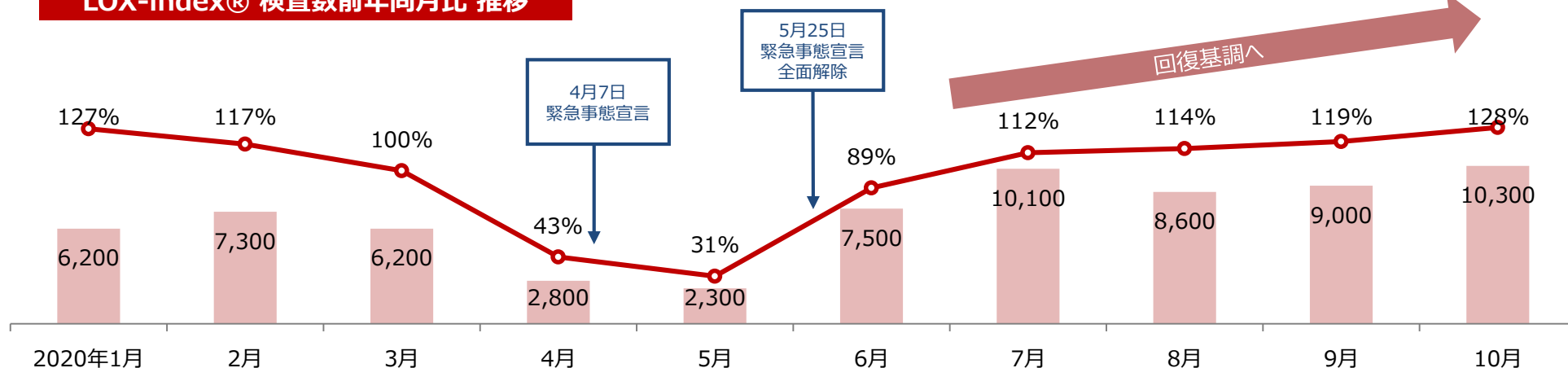
売上収益 -11.2% 減収

- 4-6月は、緊急事態宣言下の来院控えの影響を受け、主力検査サービスのLOX index®の検査数が大幅に減少するも、7-9月では回復
- 7-9月は、対前年同期比+16.6%と増収

事業EBITDA -53.8% 大幅減益

- 売上収益の減少に伴い、減益

LOX-index® 検査数前年同月比 推移



主要BS科目

単位：百万円	2020年 3月期末	2020年 9月末	増減額
現金及び現金同等物	50,162	54,770	① +4,608
売上債権及びその他の債権	14,540	13,292	△1,248
棚卸資産	4,967	5,931	+964
のれん *1	38,160	67,171	② +29,011
無形資産 *1	17,260	42,622	③ +25,362
繰延税金資産	4,477	2,422	△2,054
その他	30,738	36,850	+6,111
資産合計	160,308	223,061	+62,752
仕入債務及びその他の債務	12,013	8,570	△3,443
借入金（流動・非流動）	37,364	78,974	④ +41,610
繰延税金負債	4,285	11,553	+7,268
その他	22,812	24,590	+1,778
負債合計	76,474	123,689	+47,214
親会社の所有者に帰属する持分合計	78,488	93,999	+15,511
非支配持分	5,345	5,372	+27
資本合計	83,833	99,371	+15,537

*1 2020年4-9月決算では、AlphaTheta買収によるPPAの適用は暫定的な処理のため、のれん及び無形資産等は確定時（通期決算時の予定）に変動する可能性があります。

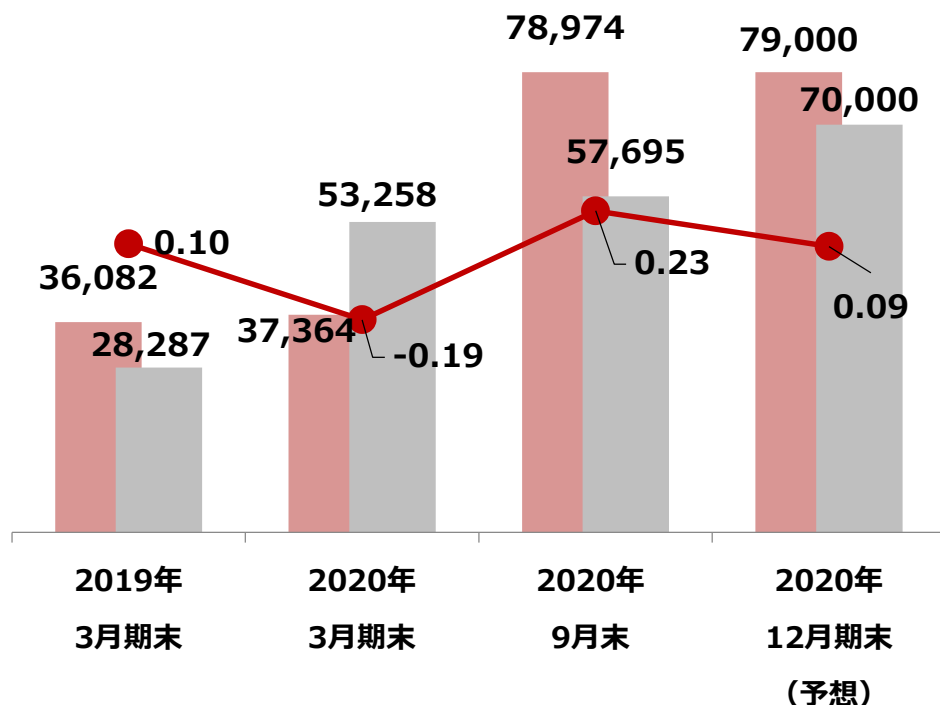
- 当期より、AlphaThetaが連結加入
- 日本共済は、売却目的で保有する資産、負債で計上（2020年12月末では除外）
- 売却済のデンタルホールディング、ハルメクホールディングス、ジーンテックの資産負債は除外

（増減要因）

- ① 現金及び現金同等物の増加+46億円は、AlphaTheta買収のエクイティ出資△200億円、JMDC株式売却+159億円、子会社売却+145億円が主な要因
- ② のれんの増加+290億円はAlphaTheta+392億円、グループ事業再編による連結子会社売却による減少△108億円
- ③ 無形資産の増加+253億円は主にAlphaTheta加入によるPPAの適用によるもの
- ④ 借入金の増加+416億円はAlphaTheta買収による借入+450億円（LBOローン300億円、バックファイナンス150億円）が主な要因

単位：百万円

有利子負債 現金性資産 Net DEレシオ



Net Debt	7,795	△15,893	21,279	9,000
----------	-------	---------	--------	-------

2020年9月末

- AlphaTheta買収により有利子負債が増加も、Net DEレシオは0.23倍（目安の0.40倍以下）
- JMDC株式の一部売却により現金性資産を確保（売上収益の約1年分）

2020年12月期末（予想）

- Net Debtは90億円、前回予想比で△90億円。主にJMDCの海外募集による新株式発行約107億円が要因
- 結果、Net DEレシオは0.09倍で健全性を維持

1 2020年12月期 第2四半期連結業績

2 2020年12月期 通期連結業績予想（9か月）

3 セグメント別トピックス

4 APPENDIX

新型コロナウイルスの影響について

主要セグメント事業への影響（11/13現在 ※8/14からアップデート）

主な事業会社

見通し

ものづくり

ティボー
(部品・材料)

- ペン先事業（筆記、コスメ）及びMIM事業ともに、中国から調達している一部素材に滞りがあったが準備在庫により、調達による生産への影響は特になし。
- 生産及び販売は、感染拡大防止のために活動を一部制限したことにより、売上収益や生産性に影響が出ていたが、徐々に良化。ただし、当期いっぱい続くものとして、生産計画やコスト調整は継続。
- 中国市場は前年同期以上に復調。
- 販売はリモートにより活動継続しているが、各国顧客が生産計画の見直しをしているため、販売に影響。MIMでは、自動車分野を中心に影響はあったが、自転車分野が好調に推移し復調、10月以降は大幅増を見込む。
- 新工場建設及び移設は、コロナ禍において生産活動を調整しているなか、移設と生産の並行運用に伴う負荷を低減できるメリットもあることから、当初計画どおりに進めており、順次稼働中。

AlphaTheta
(音響機器関連)

- 調達側の問題は特になし。販売は、リモート対応も含めて稼働。
- クラブやイベント会場向けの販売は停滞した一方、ホームユース向けを中心とした販売は好調。また、9月以降リリースした新商品についても同様に、販売好調。
- 工場はロックダウンにより3月中旬から1か月強停止したが、受注残高を順次解消し、復調。
- 物流は通常通り動いているが、工場停止分の出荷を挽回すべく、一部空輸による早期供給をしたことで運賃高騰の影響が出るも、販売増によりコスト吸収。
- 10月に入り、欧米を中心に感染再拡大をしているが、販売動向に大きな変化はなし。

ヘルスケア

JMDCグループ
(医療情報)

- 開発はリモート体制により予定通り進捗。営業もWeb化を促進。
- 活動自粛の中、医療機関への来院控えにより、遠隔画像診断、調剤薬局向けサービスの販売が一部鈍化するも、回復傾向にあり、計画を上回るペースで進捗。
- 感染拡大に伴い、規制緩和を含めた医療現場におけるデジタル活用が進む等、対応領域が広がっている

NKメディコ
(医療検査)

- 緊急事態宣言により、一部の医療機関の健診の中止/縮小や、来院控え等あり、販売が鈍化。
- ラボは自社運営かつ通常稼働しているため、サービス供給については問題なし。
- 7月以降は、検査数が前年同期比を超えるペースに復調。

通期業績予想修正（9か月）

音響機器関連等が好調に推移していることや、為替影響を織り込み、8月14日公表の通期連結業績予想を上方修正

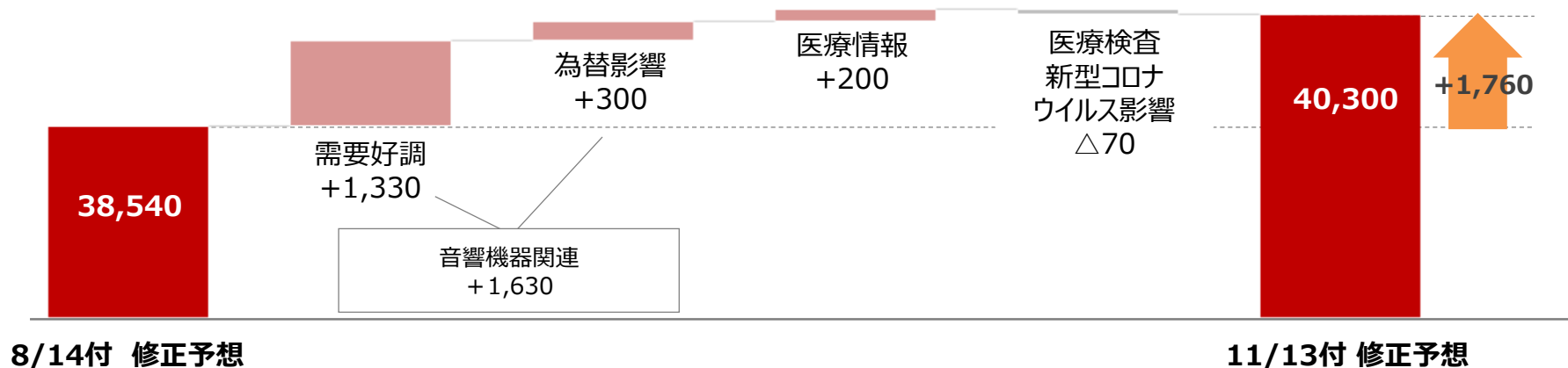
単位：百万円	2020年12月期 (2020年4-12月) 8/14付 修正予想	2020年12月期 (2020年4-12月) 11/13付 修正予想	対8/14付 修正予想		
			増減額	増減比	
売上収益	38,540	40,300	+1,760	+4.6%	
事業EBITDA	7,345	8,400	+1,055	+14.4%	
事業EBITDAマージン	19.0%	20.8%			
営業利益	4,015	5,200	+1,185	+29.5%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	6,270	6,700	+430	+6.9%	
平均為替レート	米ドル	107円	106円	△1円	-
	ユーロ	116円	122円	+6円	-

※現在の見直しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定する影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見直しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見直しの変動する場合には、速やかにお知らせいたします。

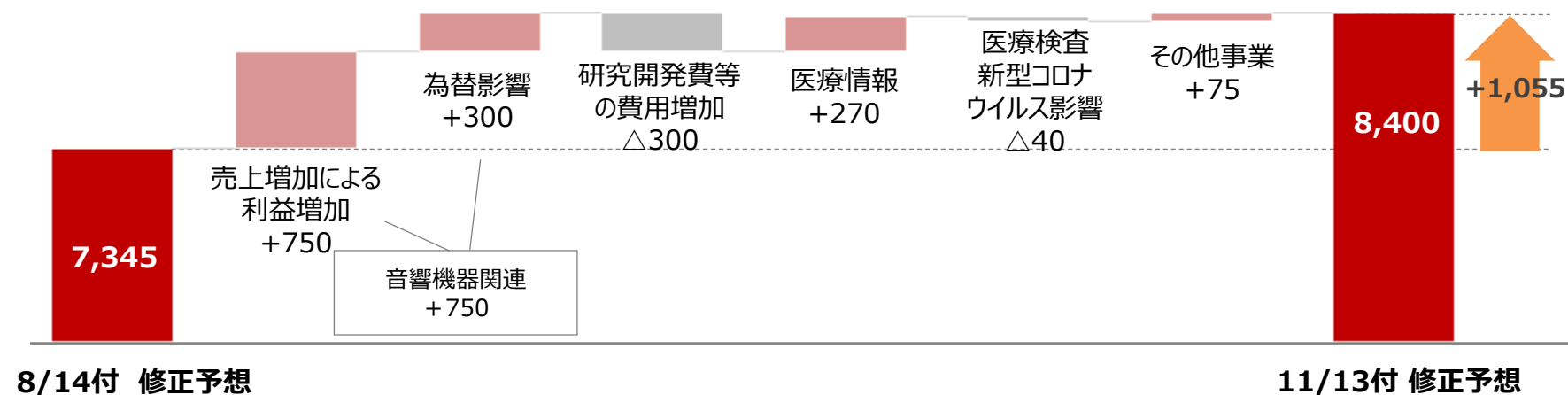
通期業績予想修正 増減分析 1/2

売上収益

単位：百万円



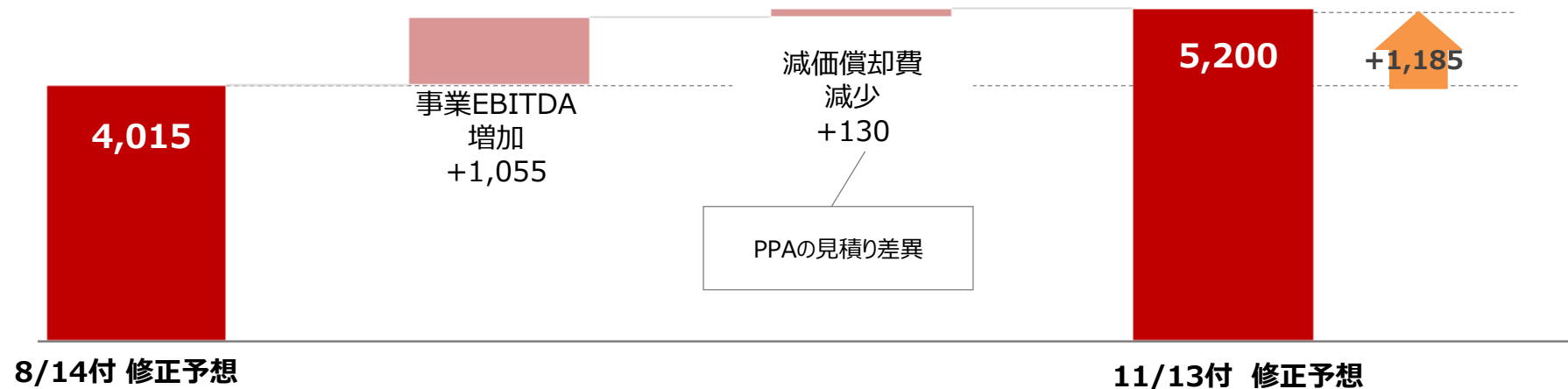
事業EBITDA



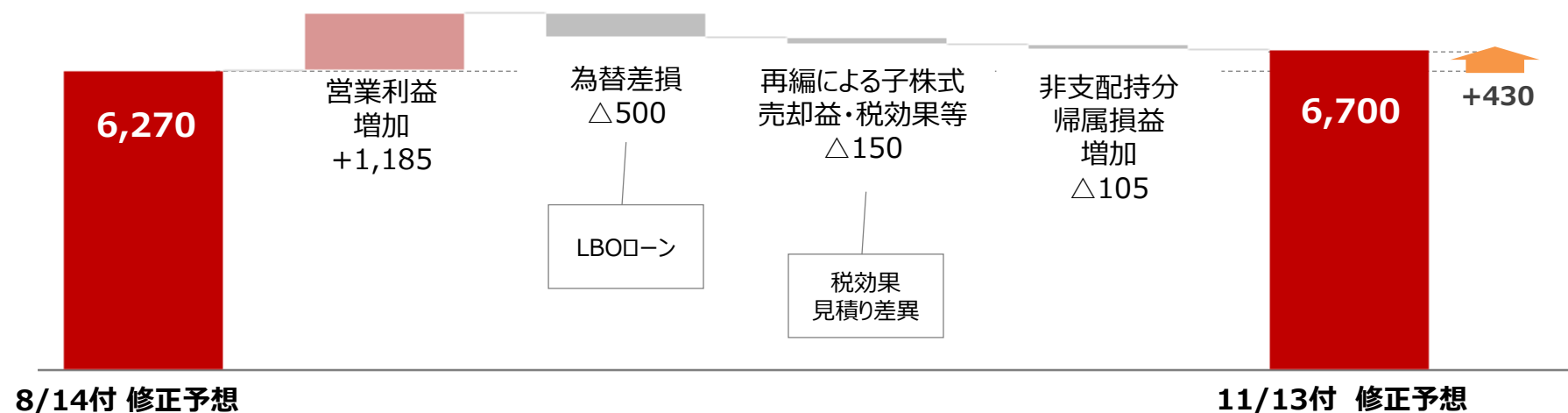
通期業績予想修正 増減分析 2/2

営業利益

単位：百万円



親会社の所有者に帰属する当期利益



2020年12月期連結通期業績予想（9か月）

上方修正後の対前期成長率は下記のとおりとなります。

単位：百万円	2020年3月期 (2019年4-12月) 実績	2020年12月期 (2020年4-12月) 11/13付 修正予想	対前期		
			増減額	増減比	
売上収益	19,065	40,300	+21,235	+111.4%	
事業EBITDA	5,063	8,400	+3,336	+65.9%	
事業EBITDAマージン	26.6%	20.8%			
営業利益	3,580	5,200	+1,620	+45.2%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,077	6,700	+5,622	+521.8%	
平均為替レート	米ドル	-	106円	-	-
	ユーロ	-	122円	-	-

※現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しが変わる場合には、速やかにお知らせいたします。
※2020年3月期実績は非継続事業を遡及した数字を記載しており、監査前の数字です。

セグメント別 売上収益／事業EBITDA

単位：百万円	売上収益			事業EBITDA		
	2020年3月期 (2019年4-12月) 実績	2020年12月期 (2020年4-12月) 予想	対前期 増減率	2020年3月期 (2019年4-12月) 実績	2020年12月期 (2020年4-12月) 予想	対前期 増減率
ものづくり	8,425	28,530	+238.6%	2,835	6,400	+125.7%
部品・材料	8,425	7,300	-13.4%	2,835	2,200	-22.4%
音響機器関連	-	21,230	-	-	4,200	-
ヘルスケア	10,457	11,770	+12.6%	2,738	2,700	-1.4%
医療情報 *1 *2	9,796	11,100	+13.3%	2,552	2,570	+0.7%
医療検査	660	670	+1.4%	186	130	-30.3%
その他	182	-	-	△98	-	-
全社費用	-	-	-	△411	△700	-
連結合計	19,065	40,300	+111.4%	5,063	8,400	+65.9%

*1 JMDCに異動したNSパートナーズの数字を含みます。

*2 当社の事業EBITDAは「使用権資産の減価償却費は除く」と定義している点において、JMDCが公表しているEBITDAとは異なります。

当期（9か月決算）の通期配当予想につきましては、8月14日に公表の通り、年間20円/株としております。

■年間配当金

単位：円銭	第2四半期末	期末	合計
8/14発表予想 (9か月決算)	—	10.00	20.00
当期実績 (9か月決算)	10.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期) (12か月決算)	7.00	8.00	15.00

※中間配当の権利日は2020年9月30日、期末配当の権利日は2020年12月31日となります。

■配当の考え方

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績および利益状況等を勘案して継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

1 2020年12月期 第2四半期連結業績

2 2020年12月期 通期連結業績予想（9か月）

3 セグメント別トピックス

4 APPENDIX

**2020年4月、浜松市第三都田地区に「MIM開発センター」完成。
生産能力を倍増、成長の柱としていく。**（※ 新工場は順次稼働、100%稼働は来期予定）

▼テイボアの技術の特徴

ペン先（筆記・コスメ）	MIM
<ul style="list-style-type: none"> ・オーダーメイド ・豊富な製品ラインナップ ・成形技術や研磨技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・量産対応 ・中空MIMの量産技術力 ・ニーズに合わせた開発力

▼MIM開発センター（2020年）



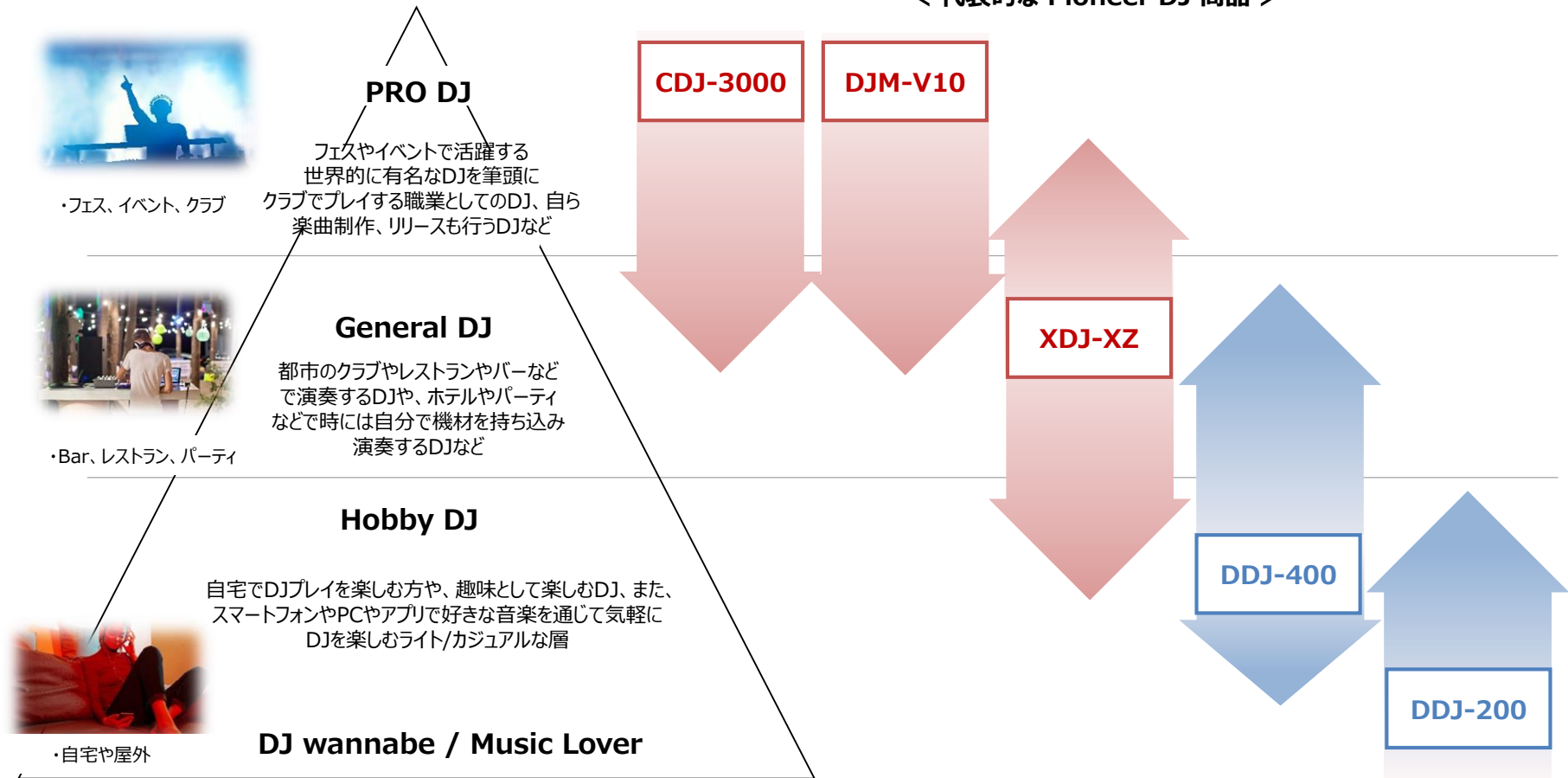
▼テイボアの生産体制拡大の取り組み

年月	主な取り組み
2012年	<ul style="list-style-type: none"> ・中国進出、「泰宝制筆材料」設立 ・浜松の都田工場に倉庫を新設し、生産体制の主力化
2015年	<ul style="list-style-type: none"> ・MIM工場の拡張、MIM生産能力を増強
2018年	<ul style="list-style-type: none"> ・都田技術センター内に「NEXT」新設、技術開発力の強化と研究開発体制を構築 ・ペン先生産能力を年間約140億円規模へ
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)soliton corporation買収、PBTブラシの開発、生産技術取得によりコスメ事業を拡大
2020年	<ul style="list-style-type: none"> ・MIM開発センター（新工場）新設 ・MIM生産能力を増強 ※移転完了は来期以降

音響機器関連 – トピックス

利用シーンに合わせた、幅広い商品ラインナップが様々なDJのニーズをカバー。
よって、コロナ禍においても販売は堅調、成長継続。

< 代表的な Pioneer DJ 商品 >



- プロDJ向けのDJプレーヤー「CDJ-3000」（9月発売）、DJミキサー「DJM-S11」（10月発売）が販売開始以来好調、当期の売上を牽引。
- 最新ヘッドフォン（8月発売）も、Bluetooth対応モデルとともに販売順調。

DJプレーヤー



CDJ-3000

プロフェッショナル DJマルチプレーヤー

最新フラグシップモデルのプロDJ/クラブ向けマルチプレーヤー
新たなMPUと特別に開発された高品質な専用コンポーネントを搭載

DJミキサー



DJM-S11

プロフェッショナル向け スクラッチスタイル 2ch DJミキサー

前身モデルのDJM-S9からさまざまな要素が改良され高次元なパフォーマンスを可能にする2ch DJミキサー

ヘッドフォン



HDJ-CUE1

耐久性と機能性、豊かなサウンド、持ち運びやすい折りたたみ機構を兼ね備え、DJを始める人に適したDJヘッドフォン

販売面は、コロナ禍においても幅広いご支持によりプラス成長を継続しており、今後も同様の傾向と予想しておりますが、生産面において、10月末の部品サプライヤー工場の火災事故により、来期の業績に一部影響が出るものと見込んでおります。

- 10月後半に、旭化成エレクトロニクス（以下AKM社）の半導体製造工場にて、火災事故が発生いたしました。
参考URL) <https://www.akm.com/jp/ja/about-us/news/information/20201030-information/>
- AKM社製品を使用している商品が複数あり、部品調達の滞りによる生産減少の影響が出る見込みです。
- 当期については、業績影響は特になく、前述の上方修正後の業績予想通りとなります。
- 一方、来期については、現状の見通しとして、代替部品への切り替え完了までに数ヶ月を要すると見ており、音響機器関連事業の売上収益にして、数%程度の減少を予想しております。
- 幅広い商品ラインナップにより、当該部品を使用していない商品の売上拡大も見込まれることから、現状では、業績に与える影響は限定的と試算しております。
- 来期の業績予想は、通常通り、来年2月の2020年12月期通期決算の開示とあわせて公表いたします。
- 影響を最小限に留めるべく、役員・従業員一同、全力で本件にあたるとともに、状況に大きな変化が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

AKM社工場の皆さまにおかれましては、幸い人的被害は無いとの報道を受け、安堵しております。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

2020年10月、米国における脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査LOX-index®の商標補助登録を完了しました。

NKメディコ株式会社は米国における今後のサービス展開を見据え、脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査LOX-index®の商標補助登録を完了しました。

米国CDCのホームページに掲載されている2017年における米国人死亡原因トップ10のうち心疾患は1位（23.0%）、脳血管性疾患は5位（5.2%）を占めており、約80万人の方が同疾患により命を落としています。

この傾向は今後も継続することが予想され、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを事前に知るといふニーズは今後高まっていくことが予想されます。

こうした状況に鑑み、米国でのLOX-index商標登録を目指しておりましたが、商標補助登録（補助登録番号：6,071,366）が完了し米国進出の第一歩を踏み出しました。

1 2020年12月期 第2四半期連結業績

2 2020年12月期 通期連結業績予想（9か月）

3 セグメント別トピックス

4 APPENDIX

セグメント別 売上収益／事業EBITDA（2020年4-6月）

単位：百万円	売上収益			事業EBITDA		
	2020年3月期 (2019年4-6月) 実績	2020年12月期 (2020年4-6月) 実績	対前年同期 増減率	2020年3月期 (2019年4-6月) 実績	2020年12月期 (2020年4-6月) 実績	対前年同期 増減率
ものづくり	2,917	7,533	+158.2%	945	1,338	+41.5%
部品・材料	2,917	2,368	-18.8%	945	648	-31.4%
音響機器関連	-	5,164	-	-	689	-
ヘルスケア	3,141	3,326	+5.9%	642	510	-20.5%
医療情報 *1 *2	2,938	3,209	+9.2%	588	522	-11.3%
医療検査	203	117	-42.4%	53	△11	-
その他	55	-	-	△33	-	-
全社費用	-	-	-	△90	△204	-
連結合計	6,114	10,859	+77.6%	1,464	1,644	+12.3%

*1 JMDCに異動したNSパートナーズの数字を含みます。

*2 当社の事業EBITDAは「使用権資産の減価償却費は除く」と定義している点において、JMDCが公表しているEBITDAとは異なります。

セグメント別 売上収益／事業EBITDA（2020年7-9月）

単位：百万円	売上収益			事業EBITDA		
	2020年3月期 (2019年7-9月) 実績	2020年12月期 (2020年7-9月) 実績	対前年同期 増減率	2020年3月期 (2019年7-9月) 実績	2020年12月期 (2020年7-9月) 実績	対前年同期 増減率
ものづくり	2,853	10,548	+269.6%	1,004	3,125	+211.3%
部品・材料	2,853	2,334	-18.2%	1,004	650	-35.2%
音響機器関連	-	8,213	-	-	2,475	-
ヘルスケア	3,671	4,029	+9.7%	1,013	1,005	-0.8%
医療情報 *1 *2	3,444	3,763	+9.3%	945	937	-0.8%
医療検査	227	265	+16.6%	68	67	-0.8%
その他	58	-	-	△33	-	-
全社費用	-	-	-	△151	△192	-
連結合計	6,583	14,577	+121.4%	1,832	3,937	+114.9%

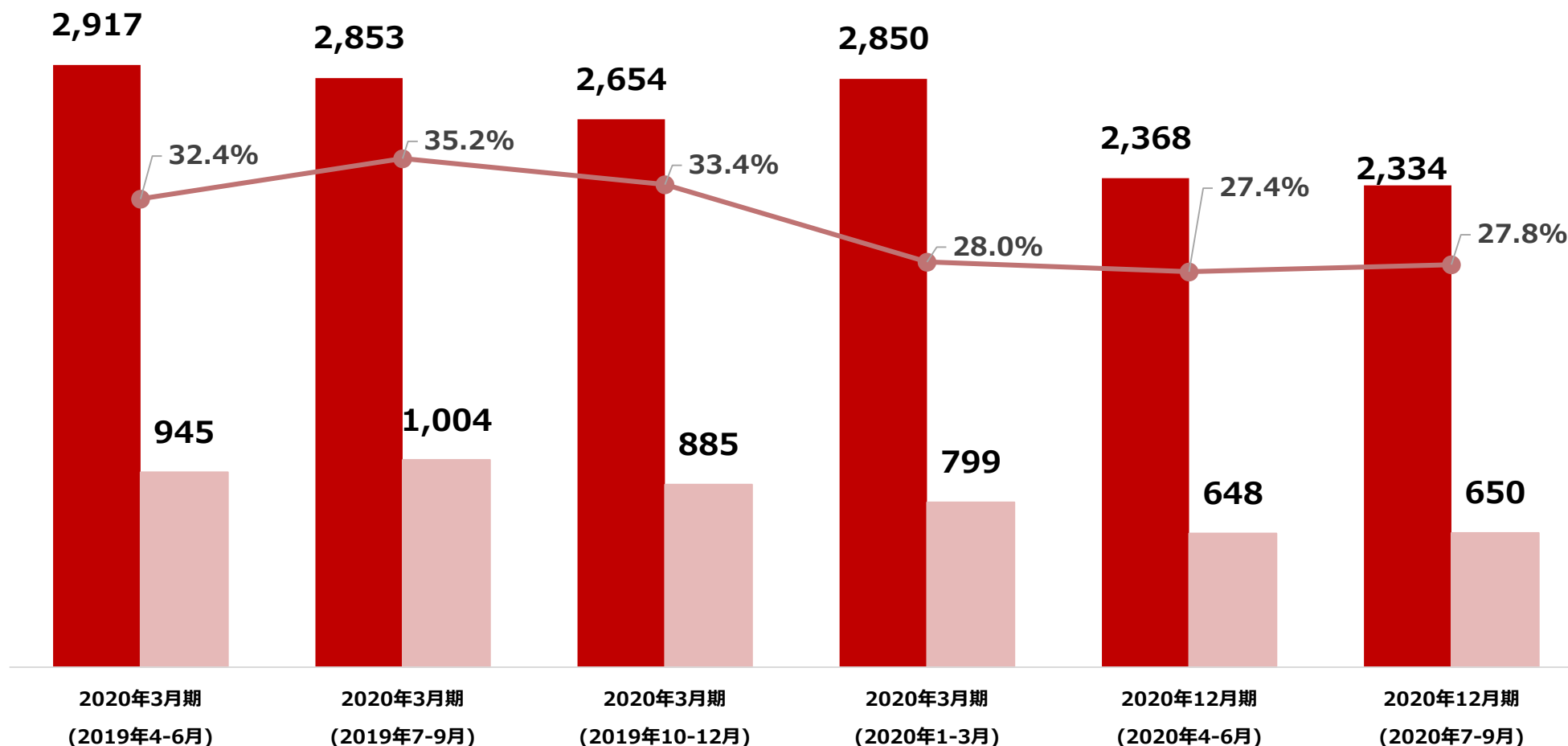
*1 JMDCに異動したNSパートナーズの数字を含みます。

*2 当社の事業EBITDAは「使用権資産の減価償却費は除く」と定義している点において、JMDCが公表しているEBITDAとは異なります。

四半期推移 – ものづくりセグメント – 部品・材料

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

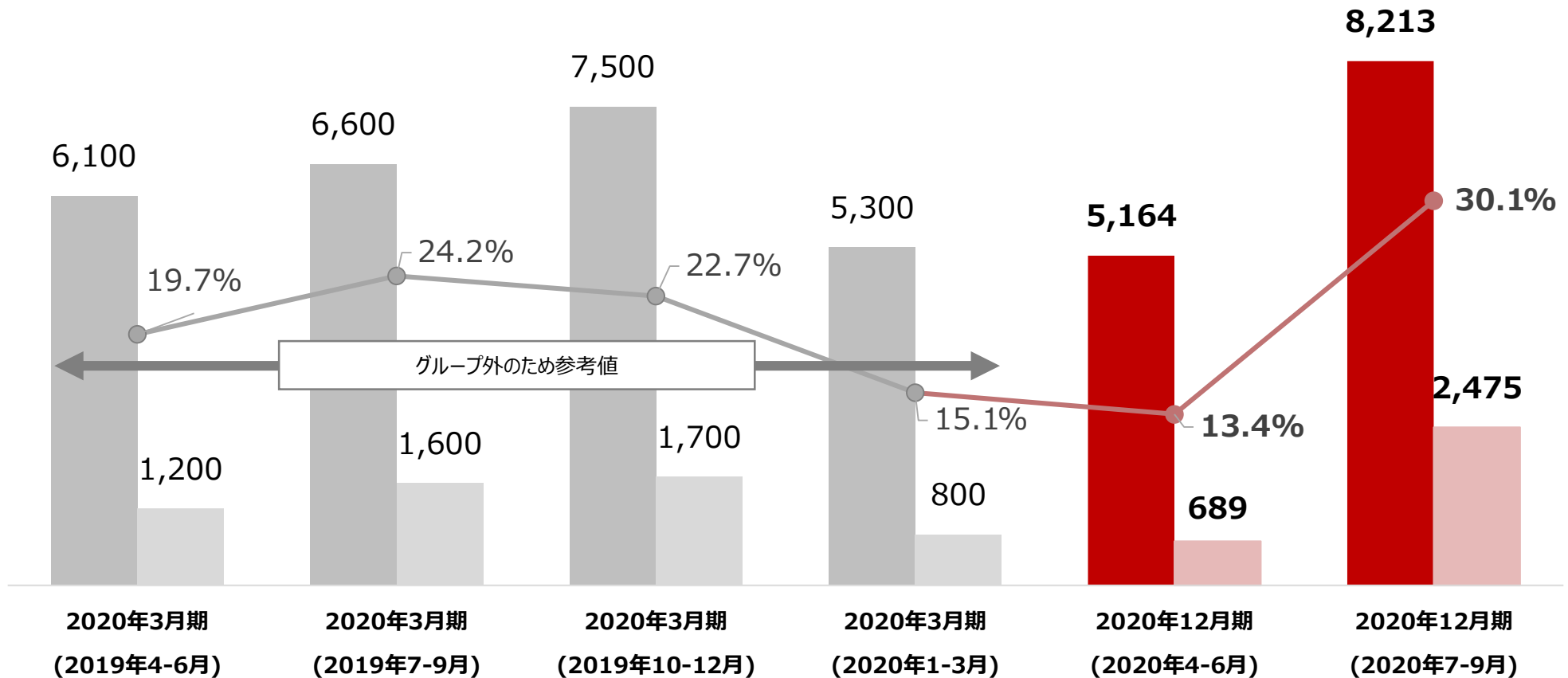
単位：百万円



四半期推移 – ものづくりセグメント – 音響機器関連

単位：百万円

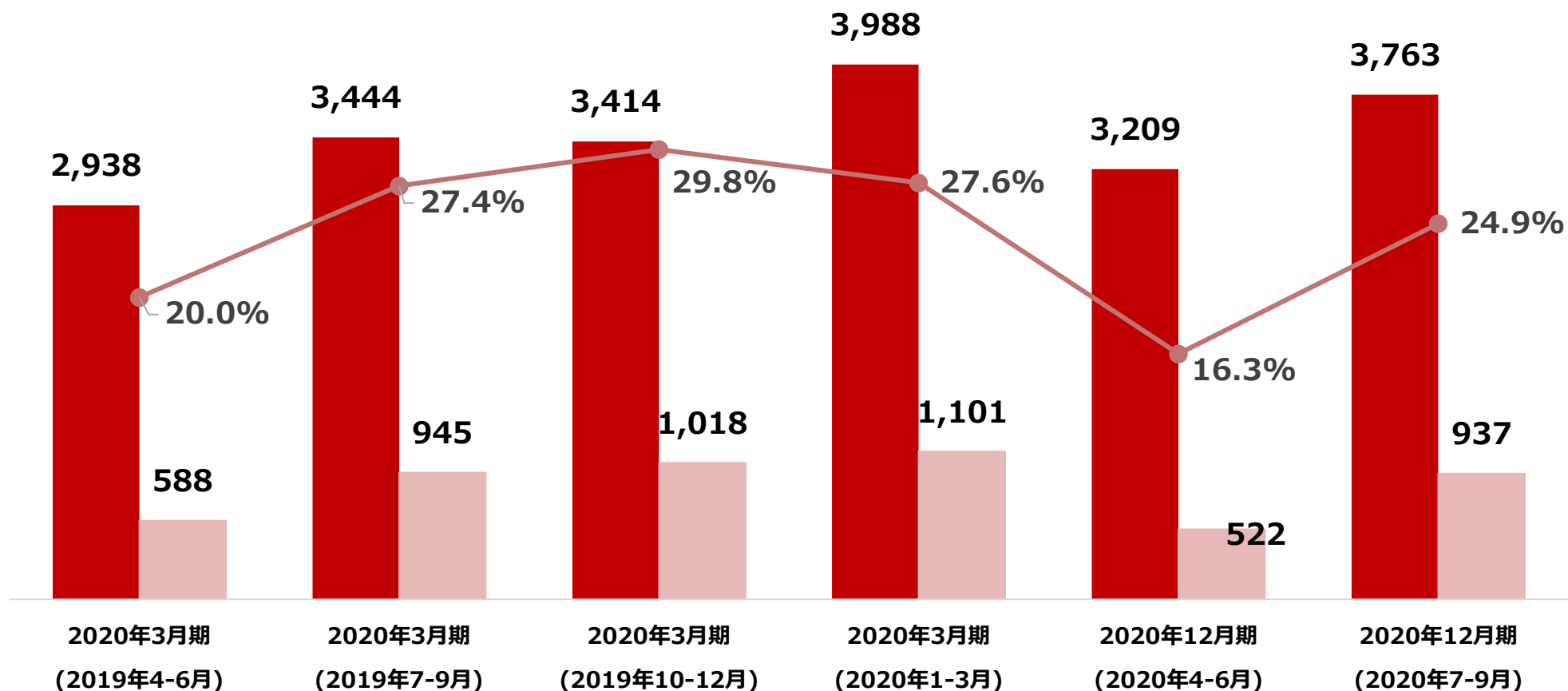
■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



四半期推移－ヘルスケアセグメント－医療情報

単位：百万円

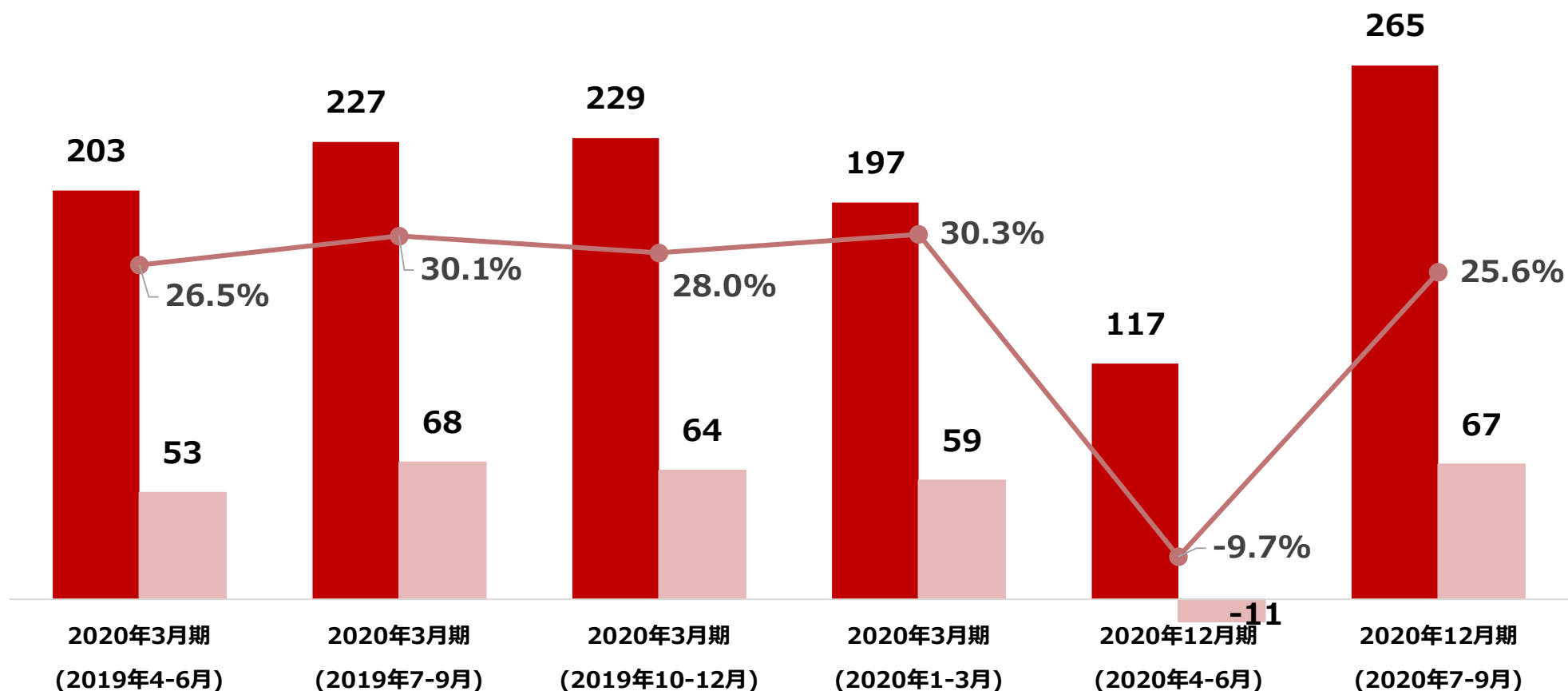
■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



四半期推移－ヘルスケアセグメント－医療検査

単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



MANUFACTURING
ものづくり

● **PARTS/MATERIALS**
部品・材料

● **AUDIO EQUIPMENT/PERIPHERALS**
音響機器関連

HEALTHCARE
ヘルスケア

● **MEDICAL INFORMATION**
医療情報

● **MEDICAL TESTING**
医療検査

ものづくり-部品/材料

T E I B O W

テイボー株式会社

世界トップシェアのペン先事業を中心に、卓越した技術開発力でコスメ事業やMIM事業など新分野へ挑戦し、新たな市場を開拓する

・筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材等の製造・販売

ものづくり-音響機器関連

AlphaTheta

AlphaTheta株式会社

グローバルトップシェアを誇る「Pioneer DJ」で知られるブランドで革新的な商品・サービスを創造し、音楽文化の発展に努める

・DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・および販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

ヘルスケア-医療情報

J M D C
●+×◀

株式会社 J M D C

国内最大級の医療ビッグデータとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現、医療ビッグデータが持つ可能性を追求し新たな価値創造、社会へ還元

・ヘルスビッグデータ事業、遠隔医療事業、調剤薬局支援事業

ヘルスケア-医療検査

NKmedico

NKメディコ株式会社

脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査「LOX-index®」をはじめとする様々な予防医療サービスを提供、日本発、予防医療のグローバルカンパニーを目指す

・予防医療事業、最先端医療の技術研究・開発事業

テイボー株式会社

ノーリツ鋼機グループの基盤事業であるものづくり事業セグメントの中核企業として、世界トップシェアのペン先事業を中心に、卓越した技術開発力でコスメ事業やMIM事業など新分野へ挑戦し、新たな市場を開拓する

社会的問題・ニーズ

- 日本が誇るものづくり技術の継承
- 中小・地方発のグローバル企業

私たちが提供できる価値・サービス

- 長年培ってきた技術開発力であらゆる先端部品・部材及び極小部品を提供し、世界中のお客様メーカーのニーズに応える
- ニッチ市場における圧倒的なグローバルシェアで、日本の中小ものづくり企業市場におけるリーディングカンパニーであり続ける

会社概要

会社名： テイボー株式会社
 代表者： 代表取締役会長 高原建司
 資本金： 50百万円
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社（100%）
 事業内容： 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部品（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売
 グループ会社： 泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 マーキングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点
 株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 コスメ用ペン先部材の製造・販売

主要事業



※中空の鋳物を作るための鋳型を成形する技術→中空（製品の内部が空洞となった形状）の金属部品を作る技術

AlphaTheta株式会社

「音楽で人をつなぐ」
創造力で音楽の可能性を広げ、よろこびに満ちあふれる世界を実現
グローバルトップシェアを誇る「Pioneer DJ」で知られるブランドで
革新的な商品・サービスを創造し、音楽文化の発展に努める

社会的問題・ニーズ

- 日本が誇るものづくり技術の継承
- 産業におけるアーティストの地位向上、アーティストの創作活動の保全

私たちが提供できる価値・サービス

- CDJに代表される世界初の商品を生み出してきた技術開発力と世界トップシェアのブランド力で、プロフェッショナルからコンシューマーまで幅広いニーズに対応し音楽文化の浸透創造を支援する
- 独自プラットフォームを中核に「人」「モノ」「コト」をつなぎ新たなコミュニケーションを通して新しい音楽表現、演奏スタイルを提案しアーティスト活動を支援する

会社概要

会社名： AlphaTheta株式会社（旧Pioneer DJ株式会社）

代表者： 代表取締役社長 片岡芳徳

資本金： 1億円（2019年12月31日現在）

主要株主： ノーリツ鋼機株式会社

事業内容： DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・および販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

販売子会社： AlphaTheta EMEA Limited

AlphaTheta Music Americas, Inc.

AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.

主な沿革

- 1994年 パイオニア株式会社の一事業として世界初のフラットトップ型DJプレーヤーCDJ500の発売
- 1995年 世界初“BEAT EFFECT”を搭載した初代プロDJミキサーDJM-500を発売
- 2012年 スマートフォン接続も可能にしたプロDJ向けマルチプレーヤーCDJ-2000NXSを発売
- 2014年 クラブクオリティを追求したプロ用アナログターンテーブルPLX-1000を導入
- 2015年 パイオニア株式会社より株式分割により事業独立。本社をパイオニア株式会社旧川崎本社に設置
- 2015年 楽曲管理アプリケーション「rekordbox™」で独自開発したDJプレイ機能「rekordbox dj」を搭載したver.4.0にアップデート
- 2015年 本社を神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番地5号の横浜アイマークプレイスに移転
- 2016年 音楽プロデューサー/DJ/ライブパフォーマー向けに多彩な表現で直感的に音楽製作ができる「TORAIZ SP-16」を発売。楽曲製作市場へ本格参入
- 2019年 横浜にDJスクールPioneer DJ横浜Labを開校
- 2020年 「AlphaTheta株式会社」（アルファシータ）に社名変更
- 2020年 ノーリツ鋼機グループ入り

主要事業

1994年より、CDJプレーヤー、DJミキサーを軸としたDJ機器を商品開発・設計・販売。



JMDCグループ

社会的問題・ニーズ

- 本格的な高齢化社会の到来
- 政府主導による“健康経営”の浸透
- 医療費の増加、介護負担の増加にともなう医療費の抑制
- 健康寿命の延伸

会社概要

会社名： 株式会社JMDC
 代表者： 代表取締役社長兼CEO 松島陽介
 資本金： 34億1,247万円(2019年12月15日現在)
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社
 事業内容： 医療統計データサービス

主な沿革

2002年1月 会社設立
 2003年12月 製薬会社向け医療DB Quick Analysis (QA) 販売開始
 2005年8月 製薬会社向け医療DB P-MarketBase (PMB) 販売開始
 2005年11月 製薬会社向け医療DB D-MarketBase (DMB) 販売開始
 2008年8月 製薬会社向け医療DB JMDC Data Mart (JDM) 販売開始
 2012年4月 保険者・事業主向け保健事業支援ツール「健助」販売開始
 2013年5月 ノーリツ鋼機グループ入り
 2015年6月 ヘルスデータ・プラットフォーム株式会社を子会社化
 2018年 株式会社ドクターネット、ユニケソソフトウェアリサーチグループ、株式会社クリンタルを子会社化
 2019年12月 東京証券取引所マザーズ上場

主なグループ会社

株式会社ドクターネット
 株式会社ユニケソソフトウェアリサーチ
 メディカルデータベース株式会社
 NSパートナーズ株式会社

「健康で豊かな人生をすべての人に」 データとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現 医療ビッグデータが持つ可能性を追求し新たな価値創造、社会へ還元

私たちが提供できる価値・サービス

- 健保組合等を通じて得たデータの第三者への提供・販売、個人向け健康情報プラットフォーム
- 遠隔画像診断サービスの提供
- 薬局向けレセコン・電子薬歴の開発・提供

ビジネス概要

ヘルスケアバリューチェーンのプレーヤーに対しさまざまなサービスを提供すべく準備を整えています。その取り組みの結果として得られたデータとノウハウが当社の強みを引き上げます

ビジネス運営主体	ビジネス概要	顧客	KPI
ヘルスビッグデータ事業	JMDC データ利活用（2次利用） 健保や医療機関などの疫学データを匿名加工化し提供	製薬会社、生損保会社、研究機関、医療機器メーカーなど	・契約企業数 ・顧客1社あたりの年間取引額
	JMDC 生活者・保険者向け（1次利用）データ分析および健保組合員向けのICT「PepUp」プロダクトの提供	健保組合、自治体、事業主など	・母集団数 ・PepUp ID発行数 ・年間5000円以上のサービス利用者人数
	MDB 医療機関向け薬剤DBや医療機関の経営改善に資するデータ分析の提供	医療機関、薬局など	・契約施設数 ・データ獲得患者数
遠隔医療事業	ドクターネット 遠隔画像診断サービスの提供	医療機関、検診センターなど	・契約施設数 ・契約読影医数 ・施設当たり依頼数
調剤薬局支援事業	ユニケソソフトウェアリサーチ 薬局向けレセコン・電子薬歴の開発・提供	調剤薬局など	・契約施設数 ・月額課金率

NKメディコ株式会社

脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査「LOX-index®」をはじめとする
様々な予防医療サービスを提供
日本発、予防医療のグローバルカンパニーを目指す

社会的問題・ニーズ

- 本格的な高齢化社会の到来
- 政府主導による“健康経営”の浸透
- 少子高齢化に伴う医療・介護需要の拡大、医療費の増加、介護負担の増加

私たちが提供できる価値・サービス

- 疾病のリスク検査/早期発見検査
- 予防医療の普及による、より良い社会への貢献
- 医師のネットワークを活かした品質の高いサービス（検査）の提供

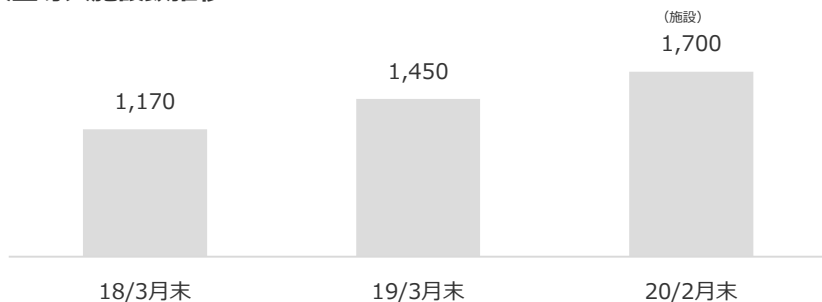
会社概要

会社名： NKメディコ株式会社
 代表者： 代表取締役社長 富永 朋
 資本金： 1億2,195万円（2019年3月期末）
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社（100%）
 事業内容： 予防医療事業、最先端医療の技術研究・開発事業
 従業員数： 正規社員21名、非正規社員6名（2019年3月期末）

主な沿革

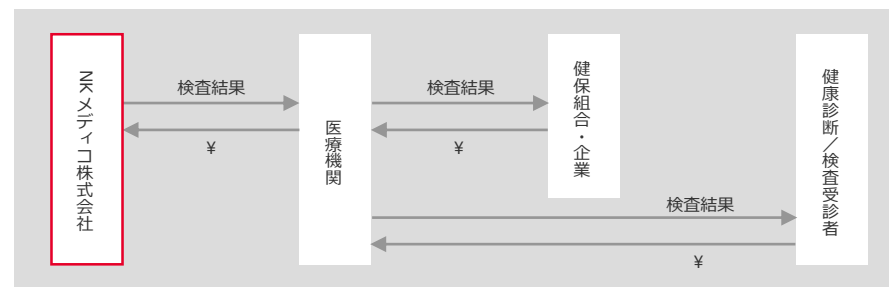
2010年7月 医療分野の事業開拓を行うNKメディコ株式会社をノーリツ鋼機100%子会社として設立
 2012年6月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の提供を開始
 2017年8月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が10万人を突破
 2019年1月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が20万人を突破
 2020年3月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が30万人を突破

検査導入施設数推移



事業モデル

- 事業開始時からの強みである医師との太く広範なネットワークを活用し、医師・患者にとって安心できるサービスを提供。また、最先端医療技術シーズの事業化も支援



主要サービス

- LOX-index®
 - 脳梗塞（日本人の主要な死因の第3位）、心筋梗塞（同第2位）のリスク検査で、全国1,700施設以上が導入、累計30万人が受診（2020年2月末現在）
 - たった2mlの採血により、動脈硬化の原因物質を測定。既存の検査項目では判定が難しかった動脈硬化の初期段階から、プラークの進展、脳梗塞・心筋梗塞などの疾患の危険度まで、幅広くカバーできる検査項目を採用
- このほか、認知症スクリーニング検査、乳がんリスク検査、消化器がんのスクリーニング検査、慢性腎臓病のリスク検査、健康年齢®レポート、アンチエイジングドックなどの体質検査、腸内フローラ検査、遺伝子検査などを提供

LOX-index®
ロックス インデックス

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。